

氏名	金井 篤子
よみ	かない あつこ
英字	KANAI Atsuko
プロフィール	名古屋大学教育学部教育心理学科卒業後、民間会社にて人事教育関係の職務を担当。その後、名古屋大学大学院教育学研究科修士課程発達臨床学専攻入学、同博士後期課程進学。同課程を中退後、名古屋大学教育学部助手、助教授、名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授を経て、現在に至る。
職位	特任教授 キャリアセンター長 教職センター長
最終学歴	名古屋大学大学院教育学研究科
学位	博士（教育心理学）（名古屋大学）
所属学会・役職	産業・組織心理学会・常任理事（2016年4月～） 一般社団法人日本心理学諸学会連合・社員（2016年4月～） 公益社団法人日本心理学会・代議員（2019年3月4日～） 公益社団法人日本心理学会・常務理事（2019年6月23日～） 一般社団法人日本心理学諸学会連合・心理学検定局常任運営委員（2022年4月1日～） 一般社団法人日本心理臨床学会 日本キャリアデザイン学会 日本学校心理学会
専門分野	キャリア心理学，産業・組織心理学，産業・組織心理臨床
研究テーマ	職場におけるメンタルヘルスとゼロ次予防，キャリア発達，ワーク・ライフ・バランス，過労死など
主な教育・研究及び社会的活動及び業績	<p><主な査読付き論文></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 金井篤子 1993 働く女性のキャリア・ストレスに関する研究 社会心理学研究, 8, 21-31. 2. 金井篤子 1994 働く女性のキャリア・ストレス・モデル―パス解析による転職・退職行動の規定要因分析― 心理学研究, 65(2), 112-120. 3. Atsuko Kanai, Mitsuru Wakabayashi, & Sheila Fling 1996 Workaholism among employees in Japanese corporation: An examination based on the Japanese-version workaholism scale. Japanese Psychological Research, 38(4), 192-203. 4. 金井篤子・若林満 1998 企業内におけるメンタルヘルス風土に関する研究 実験社会心理学研究, 38(1), 63-79. 5. 金井篤子・若林満 1998 女性パートタイマーのワーク・ファミリー・コンフリクト 産業・組織心理学研究, 11(2), 107-122. 6. Atsuko Kanai & Mitsuru Wakabayashi 2001 Workaholism among Japanese blue-collar employees. International Journal of Stress Management, 8(2), 129-145. 7. 金井篤子 2002 ワーク・ファミリー・コンフリクトの規定因とメンタルヘルスへの影響に関する心理的プロセスの検討 産業・組織心理学研究, 15(2), 107-122. 8. Atsuko Kanai & Mitsuru Wakabayashi 2004 Effects of economic environmental changes on job demands and workaholism in Japan. Journal of Organizational Change Management, 17(5), 537-548. 9. Atsuko Kanai 2009 “Karoshi (Work to Death)” in Japan. Journal of Business Ethics, 84(2), 209-216. 10. Atsuko Kanai, Gregory A. Laurence, Kiriko Sakata, Tetsushi Fujimoto, Hiroyuki Yamaguchi, Jiro Takai, Atsuko Suzuki, Jinkook Tak 2022 An International Comparison of Factors Related of Long Work Hours. Japanese Psychological Research, 64(4), 410-425. http://doi.org/10.1111/jpr.12338 <p><主な編著書></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宗方比佐子・佐野幸子・金井篤子編 1996 女性が学ぶ社会心理学 福村出版. 2. 田畑治・森田美弥子・金井篤子編 2003 臨床実践の知 実践してきたこの私 ナカニシヤ出版.

3. 蔭山英順監修 森田美弥子・川瀬正裕・金井篤子編 2003 21世紀の心理臨床 ナカニシヤ出版.
4. 松本伊瑳子・金井篤子編 2004 ジェンダーを科学する—男女共同参画社会を実現するために— ナカニシヤ出版.
5. 田村哲樹・金井篤子編 2007 ポジティブ・アクションの可能性—男女共同参画社会の制度デザインのために— ナカニシヤ出版.
6. 山口裕幸・金井篤子編 2007 よくわかる産業・組織心理学 やわらかアカデミズム・<わかる>シリーズ ミネルヴァ書房.
7. 金井篤子・永田雅子編 2015 臨床心理学実践の基礎その2—心理面接の基礎から臨床実践まで 森田美弥子・松本真理子・金井篤子監修 心の専門家養成講座2 ナカニシヤ出版.
8. 金井篤子編 2016 産業心理臨床実践—個（人）と職場・組織を支援する 森田美弥子・松本真理子・金井篤子監修 心の専門家養成講座8 ナカニシヤ出版.
9. 金井篤子編 2017 産業・組織心理学 太田信夫監修 シリーズ心理学と仕事11 北大路書房.
10. 金井篤子編 2019 産業・組織心理学を学ぶ—心理職のためのエッセンシャルズ— 産業・組織心理学会企画（編集委員長 金井篤子） 産業・組織心理学会設立35周年記念講座第1巻 北大路書房.
11. 金井篤子編 2021 心理臨床実践のための心理学 森田美弥子・松本真理子・金井篤子監修 心の専門家養成講座5 ナカニシヤ出版.

<主な社会活動>

愛知県地域職業能力開発促進協議会会長（2022年10月1日～）

愛知県キャリア教育会議委員長（2023年4月1日～）

名古屋市立菊里高等学校評議員（2008年4月1日～）

扶桑町ふそう男女共同参画推進協議会会長（2010年6月22日～）

<研究代表者として獲得した科学研究費>

平成9年度～平成11年度基盤研究（C）（2）「ワーク・ファミリー・コンフリクトとメンタルヘルスの関連性に関する心理学的考察（課題番号：09610113）」

平成14年度～平成15年度基盤研究（C）（2）「企業のリストラ施策実施時における従業員のメンタルヘルスに関する実証的研究（課題番号：14510134）」

平成17年度～平成19年度基盤研究（B）「ジェンダー（心理社会的性）とセックス（生物学的性）の交互作用に関する研究：出産前後におけるうつ病の発生メカニズムの解明を通じて（課題番号：17310151）」

平成21年度～平成23年度基盤研究（C）「中学校における危機介入と惨事ストレスケアのための総合的・組織的介入システムの構築（課題番号：21530722）」

平成24年度～平成26年度基盤研究（B）「「過労死」発生の心理社会的メカニズムの解明と防止策の構築：社会文化比較の視点から（課題番号：24330188）」